

このまちの100年

「柏」

明治29年、柏駅開業により駅前には商業・文化の集積が始まり、都市化が進んでいきました。戦後の高度経済成長期を経て、現在では首都圏有数の商業都市、住宅都市となっています。



昭和3年

柏競馬場の投票所。3日間で約5万人の有料入場者があった



昭和4年

分譲案内に掲載された、鴻の巣台。右奥にうっすらと見える山は筑波山と思われる



昭和28年

柏駅前通りの斉藤商店。自転車や小荷物の一時預り所もあった



昭和30年代初期

鉄筋コンクリート造りで防火建築帯として建替えられた、柏駅前通り商店街



昭和30年代初期

柏駅東口の二番街商店街が、京北通り商店街と呼ばれていた時代の写真



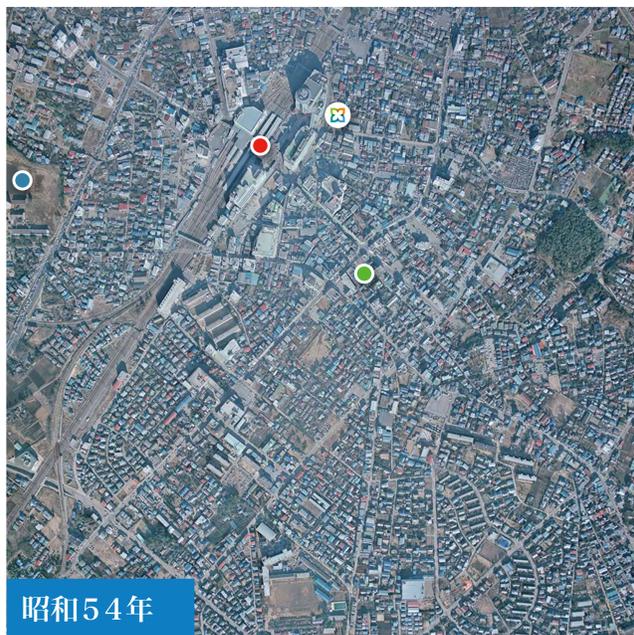
昭和30年代初期

公団初のニュータウン、光ヶ丘団地は昭和32年に入居が開始された

上空からみた柏エリア



昭和24年



昭和54年



平成25年

● : 千葉県立東葛飾高等学校
 ● : 羽黒神社／柏神社
 ● : 柏駅
 ☒ : 現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ